



自己の確立をめざし

生きる力を育む

創造・挑戦・感動

第7号 10月30日(金) 文責 教頭

「携帯電話」

校長 堀 博 樹

自分の家に電話がついたのは昭和50年頃。小学校二年生。当時は苫小牧に住んでおり、電話口から旭川のいとこの声が聞こえてきたときは、本当にびっくりした。電話は家に一台。高校生の頃は、家族が寝静まった深夜に毛布をかぶりながら電話したことも。世の中にはその電話しかないの、外出すると連絡がつかない。そういう人のために、当時、駅には伝言板が置かれていた。外出先で友人と連絡を取りたい場合はこの伝言板に書いて連絡したこともある。時代は流れ、世の中にFaxが登場。当時、団体職員だった自分にはFaxは非常にありがたい存在であった。口ではなく文字として相手に伝えられる分、間違いが少ない。水産物の販売や在庫・出荷依頼などに活用したが、当時の課長は「堀、この紙はどうやってこの電話線を伝わってくるんだ?」と真顔で聞かれ、苦笑いするしかなかった。(現在私がその当時の課長のような存在であることは否めない)その後、ようやく携帯電話が登場。初めは、社用車に取り付けられた車専用の電話。車からのみ通話が可能。そして、持ち運びできる携帯電話へ。しかし、これがでかいでかい。ショルダーバックのような形をしており、上の部分が受話器になっていた。その名も「ショルダーフォン」でかいし重い…でも当時はそれがカッコよかった。ショルダーバックのような大きな携帯を肩から下げ、さっそうと肩で風を切りながら、札幌のビジネス街を歩いた。時々、電話なんかきていないのに、立ち止まり無言の受話器に向かって「もしもし、その件については…」なんて相手がいないのに立ち止まって、周りにすみませんね～みたいな顔をして、少し大きな声で話す。街の人は羨望の眼差しで私を見ていた。(と思う)本当に当時はそんなショルダーバックでもカッコよく見えたものである。そこから一気に技術が進み、ガラケーからスマホへ。現在のスマホは驚くほどの情報を得ることができる。LINEが広がり始めたころ、「じゃあ、家族でLINEでつながろう」私と妻、娘2人のグループを作る。最初はいろいろな連絡がきていて楽しかったが、そのうち全く来なくなった。推測するにどうやら私以外で、グループを再結成している模様。知らないうちに自然脱退か? 詳細については確認していない。今、私に定期的にLINEをくれるのは、某ドラッグストアだけである。また、少し前の話になるが定期的に連絡をくれるドラッグストア以外から連絡が。思わずうれしくなって、急いで開けると…「おめでとうございます。〇〇先生が投資を指導し指示を出してくれます。それに従って、投資すれば必ず利益を上げることができます」とのこと…本当かいやいやそんなことはあるはずない! 優しく話しかけてくれたので、危うく詐欺に引っかかるころであった。

10月15日に開かれた富良野市家庭教育講演会に参加してきました。「家庭におけるSNSとの付き合い方」について国立大雪青少年交流の家 所長 室井修一氏がお話してくださいました。家庭での10代の1日のスマホ等使用時間は平均で約4時間。20~80歳までの60年間で、スマホ等にかかる金額の平均は600万円以上と予想されているそうです。多くの子どもがスマホに触れる時代であります。子どもの時に何を学び、何を体験するかが大切とおっしゃっていました。子どもたちが一番楽しかったり、思い出に残っていたりすることは、友達と一緒に遊んだことといったアンケート結果もあったそうです。スマホ等の身体への影響も大きく、睡眠不足やイライラといった症状、前頭葉機能にも影響があり、ゲームをしたときと外で遊んだときの血流にも違いが見られるとのことでした。また、SNS等によって承認欲求が生まれ、自分自身を肯定できず、不安を抱える子どももいるようです。例えば健康的な体型にもかかわらず「もっともっと痩せなきゃ」などといった思考に陥る子もいるということでした。SNSを多用することによって自己肯定感低下に繋がる可能性にも触れていました。2次元画面と実際では全然違う。相手がどのような反応をするかは体験することによって得られるし、小さな失敗を繰り返しながら学んでいくことが、大きな成長に繋がる。「いいね」と実体験での重みは全く違うもの。子ども時代に何を学び、何を体験するかが大事だと思うので、貴重な体験をする時間をスマホ等に奪われてしまうのはもったいない。そうならないためには、愛着形成期も含めて幼少期からの実体験が大切であると考えられ、まずは親がスマホを外すことを意識して、現代文明を共有しながら、意図的に実体験ができる環境作りをしていければよいのではといったお話でした。スマホが悪ではないが、自尊心を損なうことがないよう、実情に合わせてのルールが大切とのことでしたので、ぜひ、ご家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。

森林学習(1学年)

10月15日(木)、1学年が東大演習林へ出かけ、森林学習を行いました。この取組の目的は「①地域の自然に親しみ、森林や生き物に興味をもつ。②樹木は種類によって、私たちの暮らしに様々な形で利用されていることを知る。③森林には、様々な生き物が生息し、互いにつながり合って生きていることを知る。」というものでした。

当日朝は若干雨模様で、やや天候が心配でしたが、その後雨が上がり、演習林職員の方々からの説明を受けながら、森の中を1時間半程歩きました。子ども達はひとつひとつの話を真剣に耳を傾け、楽しみながら様々なことを学ぶことが出来ました。



小中音楽発表会(3学年)

10月21日(水)、富良野文化会館サンエーホールにて、「小中音楽発表会」が行われ、本校の3学年が参加しました。多くの観客の前で堂々と『手紙』を歌い上げ、生徒たちの気持ちがこもった歌声は会場中の皆様から大きな拍手をいただきました。当日、ご来場いただいた多くの保護者、地域の皆様、誠にありがとうございました。



吹奏楽部定期演奏会

10月18日(日)、本校体育館で吹奏楽部による「第28回定期演奏会」を開催しました。お客様に楽しんでいただくため、生徒が企画し練習した全18曲のステージでした。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。



職業体験(2学年)

10月6日(火)、本校2学年がキャリア教育の一環として、富良野地区の事業所31カ所に分かれ、職業体験学習を行い、様々な仕事を体験させていただきました。

生徒たちは各事業所で担当してくださった方々の話を真剣に聞き体験する中で、「社会がどのように支えられているかを理解する」手掛かりの1つを得たのではないのでしょうか。

当日大変お忙しい中、ご協力いただいた各事業所の皆様、本当にありがとうございました。



11月行事予定

3日(火) 文化の日

5日(木) 進路説明会

6日(金) 漢字検定

9日(月) スクールカウンセラー来校日

11日(水) 学力テスト(全学年) 常任委員会

12日(木) 職業講話(1年)

13日(金) 午前授業(11月20日(金)まで)

三者懇談①(3年)

教育相談①(1・2年)

18日(水) 生命の安全教室(全学年)

23日(月) 勤労感謝の日

24日(火) 5時間授業(職員会議のため)

26日(木) 2学期期末テスト①(1・2年)

27日(金) 2学期期末テスト②(1・2年)

30日(月) スクールカウンセラー来校日



富良野東中学校では、保護者の皆様や地域の皆様に学校の取組を知っていただくことを目的に、日々ホームページを更新しています。お陰様で、閲覧数が22万件を突破しました。今後も生徒の笑顔と日常の様子を画像とともに掲載してまいります。右のQRコードを読み取りいただき、ご覧いただければ幸いです。

